

## 関川村有温泉事業経営戦略

団 体 名 : 関川村

事 業 名 : 村有温泉特別会計

策 定 日 : 令和 2 年 12 月

計 画 期 間 : 令和 2 年度 ~ 令和 11 年度

※複数の施設を有する事業にあつては、施設ごとの状況が分かるよう記載すること。

## 1. 事業概要

## (1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非 適	事 業 開 始 年 度	昭 和 36 年 度
事 業 の 種 類	温 泉	施 設 名	湯 沢 1 号 井・湯 沢 3 号 井
職 員 数	兼 任 1 人		
事 業 の 内 容	村有温泉事業は、湯沢地区に井戸を有し、旅館、福祉施設などへの配湯15件(年間延べ180戸)、総配湯量は毎分330ℓとなっています。湯治に優れている泉質であり、旅館や福祉施設での利用価値が高い温泉です。		
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	実施していません。	
	イ 指定管理者制度	実施していません。	
	ウ PPP・PFI	実施していません。	

## (2) 料金形態

料金の概要・考え方	●温泉使用料 毎分1リットルあたり1,300円(関川村有温泉条例第18条の規定による)
料金改定年月日 (消費税のみの改定は含まない)	

### (3) 現在の経営状況

年間利用状況 ※単位を明記すること ※過去3年度分を記載	平成29年度	180戸	平成30年度	180戸	令和元年度	180戸
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	平成29年度	106.3%	平成30年度	91.4%	令和元年度	107.5%
経費回収率 ※過去3年度分を記載	平成29年度	81.8%	平成30年度	69.6%	令和元年度	82.7%
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	平成29年度	24.4%	平成30年度	21.8%	令和元年度	24.8%
有形固定資産減価償却率 ※過去3年度分を記載	平成29年度	9.0%	平成30年度	18.0%	令和元年度	27.0%
企業債残高対料金収入比率 ※過去3年度分を記載	平成29年度	339.6%	平成30年度	310.6%	令和元年度	256.0%
経費回収率が100%を下回っており、毎年、一般会計からの繰入を行っている。						

## 2. 将来の事業環境

### (1) 宿泊客数(観光客数)の見通し

事業規模が小さいため、利用戸数の大幅な増減はなく、横ばいを見込んでいます。

### (2) 料金収入の見通し

将来的には料金改定を行い、一般会計からの繰入をしない経営に努めます。

### (3) 施設の見通し

平成28年度に温泉井戸の改修を行ったため、しばらく改修や修繕の見込はない状況です。しかしながら、故障等により配湯ができなくなることはないよう、適切な施設管理を行います。

(4) 組織の見通し

今後も観光・地域政策室職員が兼任します。

3. 経営の基本方針

当村における湯沢温泉は、重要な地域資源の一つであり、旅館や福祉施設へ安定した温泉を供給し、計画的な施設管理のもと健全な経営を行います。

4. 投資・財政計画(収支計画)

- (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり
- (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	投資はせず、現施設の長寿命化を図ります。
-----	----------------------

定期的な維持補修を行い、現施設の長寿命化に努めます。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	料金見直しを行い、一般会計からの繰入削減に努めます。
-----	----------------------------

令和4年度以降に料金改定を行い、令和7年度以降は一般会計からの繰入を行わず、料金収入で経費を賅うことを目指します。なお、平成28年度に施設(設備)の大規模修繕を行っていることから、資本的収支における大規模な施設修繕は見込んでいません。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

年間の営業費用について、施設管理員への謝金20万円、ポンプ電気料280万円、施設修繕料150万円の計450万円として計上しています。

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。  
 また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	採算性を念頭に置き、当村に見合った取り組みを検討します。
投資の適正化	老朽化している施設の計画的な更新を検討します。
その他の取組	特筆すべき事項はありません。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料金	料金単価を見直す検討を行います。
稼働率・利用者数	特筆すべき事項はありません。
企業債	老朽化している施設を更新する際には、必要最低限の借入を予定しています。
繰入金	料金単価を見直し、一般会計からの繰入金減額に努めます。
資産の有効活用等による収入増加の取組	特筆すべき事項はありません。
その他の取組	特筆すべき事項はありません。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	特筆すべき事項はありません。
管理運営費	必要最低限の経費で維持管理を行います。
職員給与費	特筆すべき事項はありません。
その他の取組	特筆すべき事項はありません。

## 5. 公営企業として実施する必要性など

事業の意義、提供するサービス自体の必要性	観光面において、湯沢温泉の旅館が果たす役割は大きく、湯治に優れている泉質であることから、福祉施設での利用価値が高く一定の意義が認められ、必要性の高いサービスと言えます。
公営企業として実施する必要性	関川村有温泉温泉条例によります。

## 6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	毎年度の決算期において、進捗状況の確認作業を行います。なお、計画策定当時に予期しえない状況が生じた場合は、随時見直しを行います。
---------------------	--